

令和7年度南丹教育局管内中高連携授業等実施要項

南丹地区幼小中高連
中高連絡部会

1 目的

管内の府立学校の教員が中学校で出前授業やオンラインを活用した授業等を行うことで、中学生の学習に対する興味・関心を喚起し、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする子どもたちを育成することをねらいとする。また、府立学校の教員が中学校の教職員研修等の講師を務めることで、中学校の教員の資質向上に資する。

2 概要

(1) 実施対象

南丹教育局管内の市町立中学校（義務教育学校（後期課程）を含む。）の生徒及び教職員

(2) 実施方法

ア 管内府立学校の教員を中学校へ派遣して行う「出前授業」

イ 府立学校の施設において中学生に行う「受入授業」

ウ オンラインを活用して行う「オンライン授業」

エ 中学校の教職員研修等へのオンラインを含む講師派遣

(3) 実施内容等

ア 授業や教材等に応じて、中学生の興味・関心を喚起する内容

イ 府立学校の特色等の紹介による中学生のキャリア意識の高揚を図る内容

ウ 課題解決や探究学習など、総合的な探究の時間など教科横断的に取り組める内容

エ 教職員の資質向上に資する内容

3 実施手順

- (1) 中学校長は、「令和7年度南丹教育局管内中高連携授業等一覧表」から希望する授業等を選び、該当府立学校長に連絡した後、担当者間で日程等の調整を行う。
- (2) 府立学校の内諾を得た後、中学校長は「様式1（南丹教育局管内中高連携授業等 実施計画書）」を該当府立学校長に提出する。
- (3) 授業等を実施する。
- (4) 授業等終了後、中学校長は「様式2（南丹教育局管内中高連携授業等 実施報告書）」を該当府立学校長に提出する。複数回実施する場合は、全ての授業等の終了後に提出する。

4 その他

本事業は次のような効果を期待して実施する。

- (1) 地元の子どもたちを地元で育てる南丹教育局管内ならではの取組により、地元への愛着を醸成することができる。
- (2) 中学生に対して府立学校教員の持つ専門性を生かした授業等を行うことで、興味・関心を喚起することができる。
- (3) 出前・受入に加えて、可能な授業は工夫してオンラインで実施することで、一度に複数の教室での実施や、移動等を含めた課題を克服することができる。
- (4) 教職員研修等に活用することで、資質向上を図ることができる。